

農林水産部試験研究課題にかかる令和2年度外部評価委員会の結果について

令和2年11月27日
とっとり農業戦略課

外部の有識者の方々による幅広い視点をもとに試験研究課題の選定、試験研究の効率的な実施及び広範囲に普及可能な技術の確立を図ること等を目的として、試験研究課題の外部評価を行いました。

1 外部評価委員会

- (1) 実施日 10月2日(金)
- (2) 評価者 学識経験者(鳥取大学、公立鳥取環境大学)、流通・経済界(市場関係者)、生産者(農業・林業・水産業関係者)、消費者 計10名

2 評価結果(別紙参照)

- (1) 評価対象
 - ア) 来年度から取り組もうとする研究課題(事前評価対象 11課題)
 - イ) 4年以上の試験研究課題のうち研究期間が中間に達した研究課題(中間評価対象 6課題)
- (2) 評価結果の概要
 - ア) 事前評価課題 6課題は、研究を実施する。5課題は研究内容・方法を見直して実施する。
 - イ) 中間評価課題 6課題全て、研究を継続する。
- (3) 研究内容・方法の見直し等に関する委員の主な意見

試験場	研究課題名	委員意見
農試(事前)	水田農業に適用できるスマート農業技術の確立	情報を整理し、事業者が安心して利用できるようにしてもらいたい。
農試(中間)	有機栽培技術開発試験	有機栽培を広く普及するためには、さらに体系的な取り組みが求められる。
園試(中間)	白ネギを核とする弓浜砂丘地の野菜栽培技術の確立	弓浜地域の主要農業の現場に即した切実な課題に対応しており、随時、成果も現場に還元されている。
中小家畜(事前)	畜産汚水処理施設の運転管理遠隔監視システムに関する研究	環境中に過剰な負荷が続いている状況にあり、早期の技術開発と普及、規制の強化が求められる。
中小家畜(中間)	鳥取地どりピヨの遺伝資源保存技術の確立	細胞レベルでの品種維持は重要です、手法の確定に加えて凍結細胞の維持に関してリスクヘッジを考えてはどうか。
林試(事前)	山地災害リスクを考慮した適正な作業システムの選定技術の確立	安全性、効率性を高めるためにも大変重要なテーマと言える、さらにコスト面での比較も全面に出してはどうか。
水産(事前)	ファインバブルを用いた水産物品質保持試験	ファインバブルを漁業者、流通業者が導入しやすいマニュアル作りを第一の目的にすべきである。
栽漁セ(事前)	ギンザケ養殖生産技術支援事業	本研究にて地元で育ったサーモンが地域の誇りになる品質まで高まることを期待する。
栽漁セ(中間)	キジハタ栽培漁業実用化支援調査	適正放流数を「数字の現象的な環境収容力」だけで判断するのではなく、標識魚の再捕数や成長など裏付けを求めながら、総合的に判断されたい。

3 今後の取組

- 委員からの意見はかなり高度で専門性の高いものもあるが、試験研究課題への反映を検討し、試験研究のより効率的な実施及び広く普及可能な技術の確立を図る。
- 今回の結果をホームページ等でも公開し、農業者をはじめ、広く一般県民の皆様へ試験研究への理解を図る。

10月2日 農林水産部試験研究機関の試験研究課題外部評価委員会 評価結果

試験場	区分	試験研究課題名	試験期間	合計点	総合評価
農業試験場	事前	「きぬむすめ」の安定・良食味米生産を目指した栽培管理技術の確立	R 3 ~ R 5	12.9	◎
	事前	水田農業経営体における白ねぎを核とした野菜導入技術の確立	R 3 ~ R 7	10.7	○
	事前	水田農業に適用できるスマート農業技術の確立	R 3 ~ R 5	12.7	◎
	中間	水田農業経営の効率化に関する調査研究	R 1 ~ R 4	12.7	◎
	中間	有機栽培技術開発試験	H 30 ~ R 4	12.7	◎
園芸試験場	中間	園芸作物における病害虫防除対策	R 1 ~ R 4	13.5	◎
	中間	白ネギを核とする弓浜砂丘地の野菜栽培技術の確立	R 1 ~ R 4	12.6	◎
中小家畜試験場	事前	畜産汚水処理施設の運転管理遠隔監視システムに関する研究	R 3 ~ R 5	11.8	○
	事前	「鳥取地どりピヨ」のブランド向上に関する試験	R 3 ~ R 6	11.3	○
	中間	鳥取地どりピヨの遺伝資源保存技術の確立	H 29 ~ R 4	12.7	◎
林業試験場	事前	山地災害リスクを考慮した適正な作業システムの選定技術の確立	R 3 ~ R 6	12.0	◎
	事前	再生林の推進に向けたコンテナ苗の通年植栽試験	R 3 ~ R 7	11.9	○
水産試験場	事前	ファインバブルを用いた水産物品質保持試験	R 3 ~ R 5	11.2	○
栽培漁業センター	事前	新たな資源管理に対する体制構築調査	R 3 ~ R 7	12.7	◎
	事前	ギンザケ養殖生産技術支援事業	R 3 ~ R 5	12.9	◎
	事前	マサバ養殖技術高度化事業	R 3 ~ R 5	13.3	◎
	中間	キジハタ栽培漁業実用化支援調査	H 25 ~ R 7	12.2	◎

平均値	事前評価	中間評価
◎: 12点以上	研究を実施する。	研究を継続する。
○: 9点以上12点未満	研究内容、方法を見直して実施する。	研究内容、方法を見直して継続する。
×: 9点未満	実施を見合わせる。	研究を中止する。

	評価項目
事前評価	研究ニーズ・緊急性 研究計画・目標の整合性 生産者・消費者への波及効果
中間評価	必要性・社会情勢の変化 進捗状況及び達成見込み 生産者・消費者への波及効果